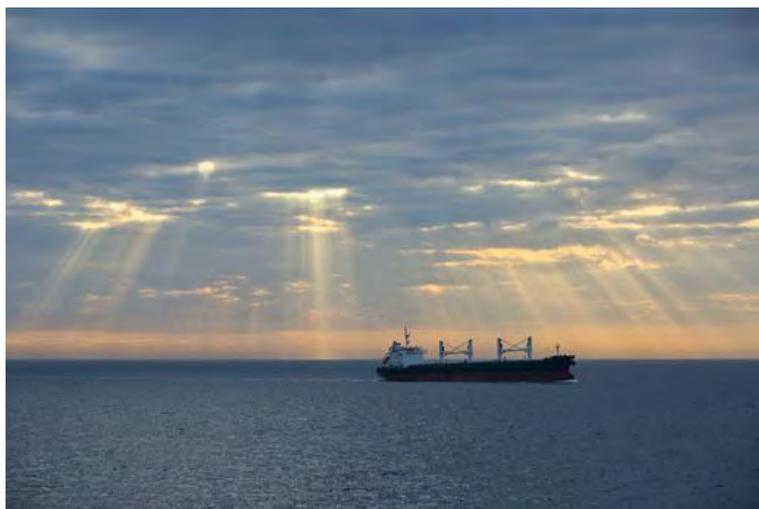


Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

折り返し地点

Date : 2015/05/25 緯度 : N 49度 11分 経度 : W 4度 33分 天気 : 曇り 気温 : 12.5度 速度 : 12.2ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱが横浜を出港してから今日で52日目、世界一周クルーズもいよいよ折り返し地点まで来ました。そんな中、玉村豊男先生による講演「フランスのワイン、日本のワイン、世界のワイン事情」がハリウッドシアターで開かれました。今回は、フランスがどのようにしてワイン大国になったのか、日本におけるワインの歴史と現状、新興国の台頭など、今回も大変盛りだくさんの内容で、最後まで楽しく拝聴することが出来ました。

夜になると、ギャラクシーラウンジでパトリック・ヌジェさんのシャンソンコンサートが開かれました。

今夜は、名曲「パリの空の下」で始まり、次にフランクシナトラの代表曲「マイウェイ」をフランス語オリジナルバージョンで歌ってくれます。聞いてみて驚いたのは、英語の歌詞とは真逆のネガティブな内容だったということ。とは言え、日々のやるせない思いがひしひしと伝わってくる、個人的にはなかなか良い歌詞だと思いました。後半からは歌手のあみさんが加わり、日本でもヒットした「ミスターサマータイム」をオリジナルのフランス語バージョンで、そして最後は「オー・シャンゼリゼ」を皆で合唱して幕を閉じました。

コンサートの後デッキに出てみると、雲の隙間から海面に光が差し込んでいるのが見えました。2015年飛鳥Ⅱ世界一周クルーズもいよいよ明日から後半に突入です。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

モン・サン・ミッシェル

Date : 2015/05/26 緯度 : N 49度 26分 経度 : E 0度 14分 天気 : 晴れ 気温 : 15.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : オンフルール



飛鳥Ⅱは朝6時にセーヌ川河口の町オンフルールに着きました。

今日はオンフルールからバスに乗り、有名なモン・サン・ミッシェル修道院へ向かいます。

バスはノルマンディー地方の田園地帯を走って行き、2時間半ほどで駐車場に着きました。そこからル・パスールと呼ばれる専用のシャトルバスに乗り換え、ようやく修道院に到着します。まずはグランド・リュウと呼ばれる参道を散策してから、レストランで名物のスフレリーヌ（オムレツ）をいただきました。スフレリーヌは、メレンゲ状の卵をふんわりと焼き上げたもので、お腹を空かせた巡礼者にとにかく何か食べてもらおうと、その場しのぎに作ったのが始まりだそうです。

昼食の後は、いよいよ内部を見学です。一番の見どころは、北側の「ラ・メルヴェイユ＝西洋における驚異」と呼ばれるゴシック建築群と、最上階の2列円柱に囲まれた回廊ですが、やはり西側テラスからの壮大な眺めには敵いませんでした。眼下を見下ろすと、広大な干潟の上を子供達が歩いています。近くに居たカモメも羽を休めながら、私たちと同じように景色を眺めていました。

その後、飛鳥Ⅱは夜7時にオンフルールを出港、一旦イギリス海峡に出て、翌朝再びセーヌ川を遡ります。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

セヌ川を遡上

Date : 2015/05/27 緯度 : N 49度 27分 経度 : E 1度 3分 天気 : 晴れ 気温 : 17.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ルーアン



早朝、再びセヌ川に入った飛鳥Ⅱはルーアンへ向け川を遡ります。ところが、濃い霧が発生していて景色がほとんど見えません。我慢強く待っていると、ようやく晴れてきて、やがてたくさんの方がデッキに出てきました。右舷側には崖が聳え、左舷側には牧草地や麦畑が広がっています。ベニスの時とはまた全然違う、クルーズ船ならではの素晴らしい光景でした。船はその後、製粉工場が建ち並ぶところで船を180度旋回させて、今度は後ろを向いたまま川を遡り始めます。そして予定通り正午にルーアンの岸壁に到着しました。

夜には、飛鳥Ⅱ2015年世界一周クルーズ特別晩餐会が、ヴェルサイユ宮殿の「戦闘の回廊」で開かれました。皆さん名店ダロワイヨの料理に舌鼓を打ちながら、夢のようなひとときを過ごされたのではないのでしょうか。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ルーアン

Date : 2015/05/28 緯度 : N 49度 27分 経度 : E 1度 3分 天気 : 曇り 気温 : 15.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ルーアン



今朝のルーアンはどんよりとしていて肌寒く、私が出掛ける頃には、残念ながら小雨が降っていました。今クルーズでは、ドブロヴニク以来2度目の雨ということになります。

ルーアンは「町そのものが美術館」と称されるように、旧市街には美しい木骨組みの建物が並び、荘厳なゴシック様式のノートルダム大聖堂は、クロード・モネが連作を描いたことでも知られています。また、ジャンヌ・ダルク終焉の地としてもよく知られ、火刑に処された旧市場広場のジャンヌダルク教会では、彼女を偲んで人々が絶え間なく参拝に訪れていました。

ボンボヤージュの後、飛鳥Ⅱは午後3時にルーアンを出発、今度はセーヌ川を下っていきます。途中、小さな村をいくつか通過すると、「フランスで最も美しい廃墟」と称されるジュミエージュ修道院が見えてきました。今日は霧に覆われることもなく、のどかなノルマンディーの風景を楽しみながらの航行です。最後はノルマンディー橋をくぐって、イギリス海峡に夕日が沈んでいくところを皆さんと眺めることが出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

浪曲ライブ

Date : 2015/05/29 緯度 : N 49度 18分 経度 : W 5度 57分 天気 : 曇り 気温 : 14.0度 速度 : 14.7ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは、イギリス海峡からビスケー湾の沖合に到達しました。空はどんよりとした雲に覆われていますが、比較的穏やかな航海となっています。そんな中、ギャラクシーラウンジでは、浪曲師の国本武春さんによる浪曲ライブが行われました。浪曲は江戸末期に始まった大衆演芸ですが、国本さんの場合、これまでの浪曲とは一線を画し、独自の洋楽アレンジで浪曲を歌い上げるというものです。合いの手をどのように入れるとか、皆さんとお経を読んだりとか、バラエティに富んだパフォーマンスに会場は大いに盛り上がりました。その後、パームコートでは、ポルトガルギターの湯浅隆氏とマンドリンの吉田剛士氏のデュオ、マリオネットによるラウンジコンサートが開かれました。非常にリラックスした雰囲気の中、二人の楽しいトークと哀愁を帯びた音色に酔いしれます。気がつくとなんとなく間に30分が過ぎていました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

中国料理教室

Date : 2015/05/30 緯度 : N 44度 41分 経度 : E 14度 2分 天気 : 晴れ 気温 : 17.0度 速度 : 18.0ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはユーラシア大陸を離れ、大西洋上を西に向けて航行中です。

そんな中、今回ゲストシェフとして乗船されている横浜ロイヤルパークホテル「皇苑」の総料理長、加藤賢一シェフによる中国料理教室がフォーシーズン・ダイニングルームで開かれました。私も中華料理は好きで良く作るのですが、さすがに本格的な中国料理となると躊躇してしまいます。今回は「豚肉とグリーンアスパラの黒豆炒め」「干し貝柱入り焼売」「アボカドのミルクプリン」の三品で、肉を柔らかく調理するコツや、火力の弱い家庭でも美味しく作れるコツなどを伝授していただきました。

夜は、ギャラクシーラウンジで佐々木秀実さんのシャンソンコンサートが開かれました。個性派歌手として知られる佐々木秀実さんですが、17歳の頃から活躍されているというだけあって、素晴らしい表現力に思わず圧倒されてしまいます。最後は「よいとまけの歌」から「愛の讃歌」で幕を閉じました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

大西洋上の月

Date : 2015/05/31 緯度 : N 40度 3分 経度 : W 21度 28分 天気 : 晴れ 気温 : 18.0度 速度 : 17.2ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



今日は、竹前文美子先生の朗読教室にお邪魔してみました。

入室してすぐに、竹前先生が佐藤由佳さんのピアノ伴奏に合わせて朗読を始めると、あっという間に語りの世界に引き込まれてしまいます。竹前文美子先生は今回、朗読教室以外に歌唱教室も受け持っていて、長年の音楽活動だけでなく、現在はラジオのパーソナリティー、読み聞かせなど、幅広く活動されていらっしゃるとの事でした。

夜になると、マリオネットの最後のコンサートが、ギャラクシーラウンジで開かれました。今回はラストに「月の砂漠」や「ネバー・オン・サンデー（日曜はダメよ）」といった名曲を披露、明日の寄港地ポントデルガダに思いを馳せながら、思わず聞き入ってしまいます。コンサートの後デッキに出てみると、夕日に染まった雲の上には、青い月がぼっかりと浮かんでいました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

サンミゲル島

Date : 2015/06/01 緯度 : N 37度 44分 経度 : W 25度 40分 天気 : 晴れ 気温 : 21.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ポンタデルガダ



飛鳥IIは、予定通り朝7時にサンミゲル島のポンタデルガダに入港しました。

サンミゲル島は、ポルトガルの首都リスボンから西へ約1,500キロの大西洋上に浮かぶアゾレス諸島（ポルトガル領）最大の島で、牧歌的な雰囲気と温暖な気候から、最近では保養地として人気があるそうです。

今日はそんなサンミゲル島の島内観光へ皆さんと一緒に出かけました。まず最初は島の中央に位置するフォゴ湖へ向かいます。フォゴは島内に三つある成層火山のひとつで、標高が高いため当初は雲に覆われていましたが、やがて雲の間から幻想的なカルデラ湖を眺める事が出来ました。次に島の北側にあるサンタ・イリア展望台に到着。ここは切り立った崖と牧草地が続く、のどかで気持ちの良い場所でした。ゴレアナの紅茶工場では、お茶の製造過程を見学したり、茶畑を眺めながら優雅なティータイムを過ごします。その後、温泉地帯のフルナスの谷で、ブクブクと湧き出る源泉を見ながら飲泉や足湯を試したり、まるで日本の温泉地のように楽しみました。昼食はフルナスのレストランでコシート・ダス・カルデイラをいただきます。コシート・ダス・カルデイラは、地熱を利用したこの辺りの名物料理で、野菜や肉、ソーセージなどを塩コショウ、ハーブとともに大鍋に入れ、熱い地面に5時間ほど埋めておくというもの。蒸し上げられた肉や野菜はとても柔らかく、凝縮した旨味が絶品でした。その後フルナス湖を見学してから、リベイラ・グランデという町に立ち寄り、飛鳥IIが停泊しているポンタデルガダに戻ります。

今回、サンミゲル島にはたくさんの紫陽花が咲いていました。気がつけば今日から6月です。今ごろ遠い日本でも、同じように紫陽花が咲き始めているのでしょうか。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

フォーマルナイトコンサート

Date : 2015/06/02 緯度 : N 37度 57分 経度 : W 33度 0分 天気 : 曇り 気温 : 22.0度 速度 : 18.2ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



今日は約一ヶ月ぶりとなるフォーマルナイトです。

アペリティフタイムでは、ドレスやタキシード姿の皆さんが、ナマナの演奏に乗ってダンスを楽しんでいました。

そんなフォーマルナイトに相応しく、ギャラクシーラウンジでは、ベッティーン・クレメンさんのフルートコンサートが開かれました。動物愛好家として知られるベッティーンさんは、世界各地で動物と触れ合いながら演奏を行っていて、演奏中にも、象がベッティーンさんの演奏を聴いて踊り出す様子や、オランウータンがベッティーンさんのフルートを離さないといったシーンがスクリーンに映し出され、素晴らしい夜を演出していただきました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

中華ディナー

Date : 2015/06/03 緯度 : N 38度 19分 経度 : W 42度 36分 天気 : 晴れ 気温 : 22.5度 速度 : 18.2ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは、予定通り大西洋上をニューヨークに向け航行中です。
このところ、海上は温度湿度ともに高くなり、雲の形も変化してきました。もくもくとした雲を見るのは、もしかしたらインド洋以来かもしれません。そんな中、フォーシーズン・ダイニングルームでは、横浜ロイヤルパークホテル「皇苑」の総料理長、加藤賢一シェフの中華ディナーが供されました。まず最初の「広東焼き物入り各種前菜盛り合わせ」では、バラエティに富んだ味わいが楽しめました。その次は「フカヒレの姿煮込み」です。フカヒレの上には金華ハムとトランペット茸、それと菜の花が添えてあり、プリットした食感とじんわりやってくる旨味がたまらない逸品でした。続いて出てきたのは「大海老と欧州野菜のミルク炒め蟹内子ソース掛け」で、これが中国料理には珍しくワインにぴったりの味。その次の「鮑と黒毛和牛肩バラ肉のチーホージャン煮込み」は、柔らかな鮑と牛バラ肉のハーモニーが絶品でした。ふんわりしたもち米に鶏のうまみが染み込んだ「鶏肉ともち米の蓮の葉包みごはん」を食べる頃には、すでにお腹も一杯になっていましたが、デザート「アボカドプリン紫芋のココナツ団子・フルーツ」があまりに美味しかったので、やはりデザートは別腹なのだと思います。そしてこの日、ギャラクシーラウンジでは、浪曲師の国本武春さんによる二回目の浪曲ライブが行われました。今回は武蔵と小次郎の巖流島の決闘シーンなどもあって、聞かせたり笑ったりと楽しいライブになりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

マグロ解体ショー

Date : 2015/06/04 緯度 : N 38度 30分 経度 : W 51度 53分 天気 : 曇り 気温 : 23.0度 速度 : 17.5ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



今日は、アスカプラザでマグロの解体ショーが行われました。

ポントデルガダで買い付けたメバチマグロの重さは、頭部や内臓を取り除いた状態でおよそ80キロ。そこから取れる刺身は6割程度ですが、それでもざっと600人前はあるということです。もちろん解体されたマグロは刺身となり、夕食時に美味しくいただく事が出来ました。

夜は佐々木秀実さんによる二回目のシャンソンコンサートがギャラクシーラウンジで開かれました。今夜の秀実さんは真っ赤なドレス姿で、日本のなつかしい歌の数々を豊かな表現力で歌い上げ、ラストは美空ひばりさんの名曲「愛燦々」で締めくくっていただきました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

大西洋を西へ

Date : 2015/06/05 緯度 : N 39度 47分 経度 : W 61度 7分 天気 : 晴れ 気温 : 20.0度 速度 : 17.4ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



今日は朝から穏やかな航海となりました。久しぶりに船尾へ出てみると、鮮やかなブルーの航跡が、遙か東のユーラシア大陸まで続いているかのようです。

そんな中、梶原アシスタントクルーズディレクターが主宰するフラ教室では、明日の発表会に向け特訓が行われていました。

夜には、ベッティーン・クレメンさんによる二回目のフルートコンサートがあり、今回は「荒城の月」や「ラ・クンパルシータ」「フィガロの結婚」より「恋とはどんなものかしら」「アメージング・グレイス」「カルメン」といった様々なジャンルの名曲を披露、アンコールは日本の曲「千の風」で終了しました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

フラ&ウクレレ教室発表会

Date : 2015/06/06 緯度 : N 40度 32分 経度 : W 68度 32分 天気 : 曇り 気温 : 12.0度 速度 : 14.3ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日

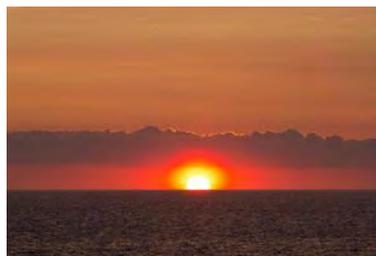


飛鳥Ⅱは徐々にアメリカ大陸へ近付いています。

今日は、ギャラクシーラウンジで、フラ教室とウクレレ教室の合同発表会がありました。皆さん、これまで積み重ねてきた練習の成果を披露するというので、いつもとは違い真剣な面持ちです。本番では、大勢の皆さんに見守られながら「ダイアナ」や「ふるさと」といった曲を演奏して、とても楽しい発表会となりました。

夜には、浪曲師の国本武春さんと、素晴らしいブルーグラスを聞かせてくれるフィドリングレオナのジョイントコンサートが、ギャラクシーラウンジで開かれました。アメリカでは三味線の事をジャパニーズバンジョーと言うそうですが、国本さんの三味線はまさにジャパニーズバンジョーそのものといった雰囲気があります。もともと留学先で出会った仲間同士ということもあり、非常に息の合った素晴らしい歌と演奏を聞かせてくれました。

コンサート終了後、綺麗な夕日が見えたので、グリーンフラッシュが現れることを期待してデッキに出てみたのですが、残念ながら今回もグリーンフラッシュを見る事は出来ませんでした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ニューヨーク1日目

Date : 2015/06/07 緯度 : N 40度 46分 経度 : W 74度 0分 天気 : 晴れ 気温 : 20.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ニューヨーク



飛鳥IIは、自由の女神に迎えられ、予定通り午前9時にニューヨークに到着しました。

船が到着した場所は、マンハッタンで最も賑わうミッドタウンからほど近い栈橋で、目の前には巨大なビル群がそびえ立ち、街の喧騒が船内まで伝わってくるのではないかと思うほどエネルギーに満ち溢れています。そういえば、このような高層ビル群を間近で見るのは、最初の寄港地シンガポール以来でしょう。

ミッドタウンを歩いてみると、日曜日ということもあって、教会でミサが行われていたり、デパートのバーゲンセールがあったり、露店が並んでいたり、とても賑やかな雰囲気でした。一方、皆さんはというと、非常に潑刺とした表情で買い物などを楽しんでいる、やはりニューヨークという街は人を元気にさせる場所なのだと思います。

今夜は、ラジオシティミュージックホールでトニー賞の受賞式があるということで、「眠らない街」ニューヨークは、いつもより華やいだ雰囲気に包まれています。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ニューヨーク2日目

Date : 2015/06/08 緯度 : N 40度 46分 経度 : W 74度 0分 天気 : 曇り 気温 : 23.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ニューヨーク



ニューヨークは、朝からどんよりとした雲に覆われています。

そんな中、今日は地下鉄でダウントウンまで行ってみることにしました。

駅に向かう途中、小雨が降ってきたので心配しましたが、地上へ出てみると、あれほどどんよりとしていた空もすっかり晴れ上がり、日差しが眩しく感じられるほどでした。どうやら飛鳥IIの晴れ男晴れ女たちはニューヨークでも力を発揮していたようですね。

マンハッタンのダウントウンには、全米最大のチャイナタウンとマフィアで有名なリトルイタリーがありますが、活気のあるチャイナタウンに対して、隣のリトルイタリーはなんとなく元気がありませんでした。その後ブルックリン橋を歩いてから、もう一度地下鉄に乗り、今度はセントラルパークを目指します。マンハッタン島の中心に位置するセントラルパークは、毎年三千万人以上が訪れるというアメリカで最も来訪者の多い都市公園です。園内では、釣りをしている子供や、読書にふける女性など、皆それぞれが思い思いの時間を過ごしていました。

夜になると雨が降ってきて、残念ながらボンヴォヤージュは中止となりましたが、それでも一時的に雨が止み、最後は皆さんと一緒に美しい夜の摩天楼を満喫することが出来て本当に良かったと思います。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ジャズコンサート

Date : 2015/06/09 緯度 : N 36度 59分 経度 : W 73度 56分 天気 : 曇り 気温 : 23.0度 速度 : 15.6ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIはニューヨークを出航した後、大西洋を真南に向かって航行しています。今日は大きなイベントも無かったので、買い物などでお疲れの皆さんには、ちょうど良い休日になったことでしょう。

夜には、ギャラクシーラウンジではウッディ・ウッズ&ジェネヴィーヴ・マクドナルドのジャズコンサートが開かれました。冒頭はスタンダードナンバーで始まり、ボサノバアレンジのベサメムーチョから、ナットキングコールのアンフォゲッタブル、そしてアンコールのルート66まで、往年の名曲の数々を独自のアレンジで演奏してくれて、ニューヨークの余韻とともに素晴らしいジャズを楽しむことが出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

我が人生に悔いあり

Date : 2015/06/10 緯度 : N 30度 15分 経度 : W 74度 6分 天気 : 晴れ 気温 : 26.5度 速度 : 16.1ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



今日は日本人初のメジャーリーガーとして知られる村上雅則氏の講演「夢の実現に向かって」がハリウッドシアターで開かれました。

村上氏は、戦後のものの無い時代に育ち、厳格な父親に反対されながらも野球部に入って野球を続け、甲子園では良い成績が残せなかったこと、その後南海ホークスに入団して1964年に単身渡米、サンフランシスコジャイアンツでメジャーリーガーになるまでの話など、ずっと面白おかしく話されていましたが、当時は想像を絶する苦労があったのではないかと思います。最後は長島監督が引退時に言った言葉をもじって「我が人生に悔いあり」ということで締めていただきました。

夜には、ギャラクシーラウンジでディーバス3のコンサートがありました。

内容は1960年代から1990年代の女性シンガーによるヒットソングのカバーですが、三人とも非常に個性的で聞き応えがあります。最後のアレサ・フランクリンの曲などは、とにかく「最高」としか言いようのない素晴らしさで、大いに盛り上がりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

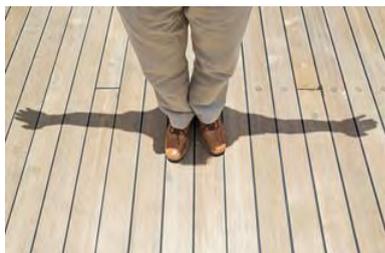
カリビアンデッキディナー

Date : 2015/06/11 緯度 : N 24度 48分 経度 : W 74度 14分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 13.5ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



今日はブリッジオープンということで、たくさんの方が操舵室を訪れました。ここでは最新のレーダーから紙の海図まで、様々な機材を駆使しながら、豊富な知識と経験によって飛鳥Ⅱを安全に航行させていることがわかります。

午前11時50分、太陽が真上に来るといので、プールサイドへ行ってみると、すでに皆さんが、デッキの上にペットボトルを置いたり、真っ直ぐに立ったりして、影が見えなくなるのを確認していました。夕方には、カリビアンデッキディナーがプールサイドで行われ、カリブ風の豆料理や肉料理、シーフードなどをいただきながら、カリブの海賊に扮したスタッフとともにダンスやゲームを存分に楽しみました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ザ・アスカテン

Date : 2015/06/12 緯度 : N 19度 52分 経度 : W 74度 17分 天気 : 曇り 気温 : 30.5度 速度 : 13.4ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



午前10時、飛鳥IIはキューバ島東端の沖合に達しました。

キューバの東端には世界自然遺産のアレハンドロ・デ・フンボルト国立公園とバラコアという町があります。バラコアはコロンブスがキューバ島に初めて上陸した際、世界で最も美しい場所と航海日誌に記したほど風光明媚な場所でしたが、残念ながら船から町を見ることは出来ませんでした。かわりにキューバで最も標高の高いマエストラ山脈を遠くに望むことが出来ました。

夜には、2015ワールドクルーズ「ザ・アスカテン」がギャラクシーラウンジで開催されました。

今夜はお客様に、とっておきの一芸を披露していただくという事で、まずは飛鳥GENJIによるパフォーマンスから始まりました。ギター演奏に朗読、歌や社交ダンスなど、皆さんの素晴らしいパフォーマンスに思わず感動してしまいました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

モンテゴベイ

Date : 2015/06/13 緯度 : N 18度 28分 経度 : W 77度 56分 天気 : 晴れ 気温 : 33.5度 速度 : 0ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : モンテゴベイ



飛鳥Ⅱはイルカの歓迎を受けながら、朝7時にジャマイカのモンテゴベイに到着しました。島の北西に位置するジャマイカ第二の都市モンテゴベイは、世界屈指のリゾート地として知られ、周辺には白砂の美しいビーチがいくつも点在しています。その中のひとつドクターズ・ケイブ・ビーチは特に美しいビーチとして知られ、青い海を縁取るように白砂の海岸が広がっていました。

ダウンタウンへ行ってみると、ちょうど教会でミサが行われていて、着飾った人々が大勢集まっています。やがて、7歳くらいの女の子が私に向かって「ジャッキー・チャン！」と言います。おそらく東洋人が珍しかったのでしょうか。街を歩いていても、海岸に居ても、ジャマイカの人々は本当に明るくフレンドリーな人ばかりでした。

夜には、ギャラクシーラウンジでウッディ・ウッズ&ジェネヴィーヴ・マクドナルドのジャズコンサートが開かれました。今日はジェネヴィーヴさんが突然着物姿で現れると、高橋真梨子の名曲「フォー・ユー」を日本語で見事に歌い上げ、彼らの最後のコンサートは拍手喝采で幕を閉じました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

カリブ海

Date : 2015/06/14 緯度 : N 14度 33分 経度 : W 76度 35分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 16.5ノット
海域 : 大西洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはカリブ海の真っ只中をカルタヘナへ向け航行中です。

今日はギャラクシーラウンジで、細野副船長による「パナマ運河よもやま話」という説明会が開かれました。パナマ運河には大小3つの閘門があり、その間にも湖や橋、そしてワニが出没するところもあるそうです。ところが、パナマ運河を通峡する明後日は、90%の確率で雷雨が予想されているという話でした。今はとにかく当日雨が降らないよう祈るばかりです。

午後は村上雅則氏の2回目の講演がありました。今回は「日米の野球の違いと選手のエピソード」ということで、他では言えないような裏話を多数披露していただきました。

夜には、ギャラクシーラウンジでディーバス3最後のコンサートがあり、今回はマライア・キャリーやホイットニー・ヒューストン、トニ・ブラクストンといった歌姫たちの名曲をカバー。最後はドナ・サマーのラストダンスで締めくくり、華やかで素晴らしいコンサートとなりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

カルタヘナ

Date : 2015/06/15 緯度 : N 10度 24分 経度 : E 75度 32分 天気 : 曇り 気温 : 31.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : カルタヘナ



飛鳥Ⅱは予定通り朝7時にコロンビアのカルタヘナに到着しました。かつてスペイン人から「インディアスの真珠」と称えられたカルタヘナは、スペイン植民地時代の美しい建造物群が数多く残る港町です。

さっそく旧市街へ向かうと、今日はキリスト教の祝祭日ということで、公園では式典が開かれていたり、教会でミサが行われていたり、街全体がとても賑やかな雰囲気でした。城壁の上からカリブ海を眺めると、海の上にはたくさんのペリカンが浮かんでいます。旧市街はそれほど広くないのですが、それでもあっという間に時間が過ぎてしまい、そろそろ船に戻らなくてはなりません。最終のバスで帰船して間もなく飛鳥Ⅱは午後2時にパナマ運河へ向かい出航しました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

パナマ運河

Date : 2015/06/16 緯度 : N 9度 15分 経度 : W 79度 55分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 2.0ノット
海域 : パナマ運河 寄港地 : パナマ運河



午前8時11分、飛鳥IIは防潮堤を越えてパナマ運河に入りました。

最初の閘門となるガトゥンロックは、3つの閘室を使い、海拔26メートルのガトゥン湖まで一気に上がるというパナマ運河最大の見所で、暑い中にもかかわらず大勢の人がデッキから見学していました。ここを通過できる船の最大サイズは通称パナマックスと呼ばれ、幅は32.3メートルまでとなっています。飛鳥IIの最大幅が29.6メートルですから、クリアランスはわずかに2.7メートルしかありません。この僅かな隙間を保つため、閘門の両側にはラック式の線路が敷設されていて、船を両側の機関車がそれぞれワイヤーで引っ張りながら牽引しているのです。

ガトゥン湖に出たからは、雄大なダム湖の風景を眺めながら暫くのんびり過ごすことが出来ました。そしてゲイラードカットと呼ばれる幅の狭い区域に入ると、左舷前方に大きなワニが居るというアナウンス。よく見ると砂浜に3メートルほどのワニがじっとしています。その次は右舷に、そしてまた左舷と、合計3匹のワニを目撃することができ、皆さんとても満足そうでした。センテナリオ橋をくぐってペドロミゲルロックに入ると、目の前に積乱雲がもくもくと立ち上り、この先は雨が降っているように見えます。そして、ミラフローレスロックの手前に来るといよいよ雨が降って来て、目の前に綺麗な虹が現れました。しかし雨はすぐに上がり、飛鳥IIは最後の閘門ミラフローレスを抜け、アメリカ橋をくぐってようやく太平洋へ到達です。長い1日でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

コスタリカ

Date : 2015/06/17 緯度 : N 7度 47分 経度 : W 82度 49分 天気 : 曇り 気温 : 30.0度 速度 : 18.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはコスタリカの沖合いを航行中です。

午後には、北条章宏先生による講演「シャルウィダンスⅡ」がありました。

前回11日の講演では、社交ダンスの本場ロンドンで修行を積んだ時の話など、面白おかしく聞くことが出来ましたが、今回は基本的なダンスの種類から、ダンスがボケ予防に役立つといった実用的な話まで、さらに面白おかしく話していただきました。

講演の後、パームコートへ行ってみると、コスタリカのオサ半島が近くに見えていました。この辺りはウミガメが数多く生息しているようで、しばらく目を凝らして海面を見つめていましたが、結局カメは現れませんでした。

夜には、タップダンスの二人組によるトゥー・オン・タップ・ショーが開かれ、フレッド・アステアやジンジャー・ロジャースなどのスターを彷彿とさせる歌とステップを披露。ラストは「虹の彼方へ」から「LOVE」で締めくくりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

飛鳥II デッキディナー

Date : 2015/06/18 緯度 : N 10度 37分 経度 : E 87度 8分 天気 : 曇り 気温 : 29.5度 速度 : 17.6ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今日は草田照子先生の短歌教室にお邪魔してみました。

伺った時、ちょうど草田先生が皆さんの歌を講評している最中だったのですが、常に笑い声が聞こえていて、皆さんとても楽しそうでした。

夜には、今クルーズ4回目のデッキディナーがプールサイドで盛大に開かれました。これまで、アジア、アラビアン、カリビアンと続いたデッキディナーですが、今回はその集大成ということで様々な料理が並んでいます。今夜はデキシーキングスが演奏しながら練り歩いたり、パラグアイハープのフランシスコ・イグレスシアさんの演奏があったり、本物のテキーラを飲んだ人を当てるゲームが行われたりと、皆さん本当に楽しそうでした。最後は、スタッフがプールに飛び込んで、盛り上がりは最高潮に達します。

こうして2015飛鳥II世界クルーズ最後のデッキディナーは大盛り上がりで幕を閉じました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

アンティグア

Date : 2015/06/19 緯度 : N 13度 55分 経度 : W 90度 48分 天気 : 晴れ 気温 : 31.0度 速度 : 0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは朝7時にグアテマラのプエルト・ケツァルに入港しました。

今日は皆さんとバスに乗って、標高1,520メートルの高原にある古都アンティグアへ向かいます。

アンティグアの町は、1543年にスペイン植民地政府の首都として創設されますが、その後二度にわたる地震で壊滅状態となり、現在のグアテマラシティに首都が移されました。当時の地震で崩壊した教会や修道院などは、今も町のあちこちに残されていて、それらは遺跡として見学出来るようになっています。

十字架の丘へ行ってみると、標高3,900メートルのアグア山が目の前にそびえ、その麓にアンティグアの美しい町並みが広がっていました。市場は思いのほか広くて、生鮮食品から衣料品、雑貨に至るまで、あらゆるものが売られています。ここで目を引いたのは、女性達の民族衣装で、とりわけ緋（かすり）の美しい柄には目を奪われました。また、この辺りはコーヒーの産地としても知られていて、試しにカフェでコーヒーを飲んでみたところ、とてもすっきりとした上品な味わいでした。

帰りのバスでは、ガイドさんが「カニクラ」の話をしてくれました。雨季の最中には必ず一週間ほど雨の降らない期間があって、その期間のことをグアテマラでは「カニクラ」と言うのだそうです。今週の始めからずっと雨が降っていないので、今がちょうどその時期にあたるのではないかという事でした。そういえば、パナマ運河の時もそうですが、まだまだ晴れ男晴れ女のパワーは健在のようですね。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

カリフォルニアワイン教室

Date : 2015/06/20 緯度 : N 14度 50分 経度 : W 95度 38分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 17.9ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱはこのあと、サンディエゴ、そしてサンフランシスコと、カリフォルニア州の二つの都市に寄港します。これに先立ち、マリナーズクラブでカリフォルニアワイン教室が開かれました。

今回はレイヴェンズウッドのジンファンデル2012と、オーボンクリマのサンタマリアヴァレー・ピノノワール2012の二種類を試飲しながら、カリフォルニアの主な産地と特長、ブドウ品種などを学びました。

夜には、ギャラクシーラウンジでフランシスコ・イグレスシアさんのコンサートがありました。冒頭はアスカオーケストラをバックにポップスの曲を披露、その後パラグアイの美しい曲をソロで演奏して、キューバの有名な歌グアンタナメーラが始まると、明るいラテンのリズムとメロディーに、私も自然と身体が動き出してしまいました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ラーメンと和菓子と語り

Date : 2015/06/21 緯度 : N 17度 37分 経度 : W 102度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度
速度 : 18.6ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは午前3時頃にメキシコのアカプルコ沖を通過して、アメリカ西海岸のサンディエゴへ向かっています。

今日の昼食は久しぶりにラーメンでした。私は迷わず醤油ラーメンを注文しましたが、他に塩ラーメンも選択できるので、どちらも好きな人にとっては悩ましい選択だったかも知れません。さらに焼き餃子が3個ついてきて、思わず顔もほころびます。

午後のティータイムでは、和菓子職人の内海邦吉氏が作った「雲の峰」と「昼顔」をいただきながら一息つくことができました。

夜には、山田雅人さんによる「かたりの世界」がありました。落語でも漫談でも一人芝居でもない話芸ということで、今回は「長島茂雄物語」と「島倉千代子物語」を披露していただきました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

地の果て

Date : 2015/06/22 緯度 : N 22度 1分 経度 : W 108度 44分 天気 : 晴れ 気温 : 24.5度 速度 : 17.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



朝の航海情報で、中村キャプテンから話があった通り、飛鳥Ⅱは午後4時過ぎ頃からバハ・カリフォルニア半島南端のロスカボスに近付き始めました。ロスカボスには、カボ・サンルーカスとサンホセ・デル・カボというリゾート地があり、2007年には飛鳥Ⅱもカボ・サンルーカスに寄港しています。半島の先端は「ランズ・エンド（地の果て）」と呼ばれていて、エル・アルコというアーチ型の岩が良く見えました。そのすぐ隣のビーチは、映画「猿の惑星」の有名なラストシーンのロケ地となったところです。

夜には、ギャラクシーラウンジで菌田憲一とデキシーキングスのコンサートがありました。冒頭はマーチングをしながらの入場で、楽しいデキシーランドジャズの演奏が始まると、皆さんも自然と笑顔になります。途中からボーカルのFumikaさんを迎え、終始賑やかなコンサートとなりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

フォーマルナイトのパラグアイハープコンサート

Date : 2015/06/23 緯度 : N 25度 13分 経度 : W 113度 6分 天気 : 晴れ 気温 : 21.0度 速度 : 13.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今夜は3週間振りのフォーマルナイトということで、アベリティフタイムでは、ドレスやタキシード姿の皆さんが、いつものようにナマナの演奏でダンスを楽しんでいました。同じ時、5デッキのピアノバーではピアニストの門真帆さんによる素晴らしい演奏が行われていて、皆さんに癒しのひとときを届けてくれます。

夜になると、ギャラクシーラウンジでフランシスコ・イグレシアさんのコンサートが開かれ、定番のベサメムーチョからパラグアイの曲まで、ラテンアメリカの名曲をメドレーで演奏。最後はロスロボスのラバンバで締めくくり、素晴らしいフォーマルナイトとなりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

紙飛行機大会

Date : 2015/06/24 緯度 : N 29度 23分 経度 : W 116度 15分 天気 : 曇り 気温 : 20.0度

速度 : 12.2ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今日は第二回目の紙飛行機大会がクラブ2100で開かれました。

皆さん、独自のアイデアを盛り込んだ自慢の紙飛行機とあって結構良く飛びます。

今回は15メートル台の好記録がたくさん出たのですが、優勝した方は何と19メートルでぶっち切りの勝利でした。一方デザイン部門では、美しいコンコルドを製作した方が選ばれて、今回は入賞者の多い楽しい表彰式となりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

サンディエゴ

Date : 2015/06/25 緯度 : N 32度 41分 経度 : W 117度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 24.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : サンディエゴ



飛鳥Ⅱは、夜明け前にロマ岬を通過してサンディエゴ湾に入り、午前7時サンディエゴ港に到着しました。

カリフォルニア発祥の地サンディエゴは、米太平洋艦隊をはじめとする海軍や海兵隊の基地が多数あることから、別名ファイタータウンと呼ばれ、トム・クルーズ主演の映画「トップガン」のロケ地となったことでも知られています。実際、飛鳥Ⅱのすぐ横には、現在博物館となっている空母ミッドウェイが、そして後方の軍港には3隻の空母が停泊しているのが見えました。

今日は、そんなサンディエゴを満喫するため、皆さんと市内観光へ出かけます。

まずはベイブリッジを渡ってコロナドへ向かいました。コロナドはダウンタウンの対岸にあるリゾート地で、洗練された雰囲気のある場所です。シーポートビレッジでは、ちょうど一隻の空母が出港して行くところを見ることが出来ました。シーポートビレッジを散策した後は、レストランで美味しいクラムチャウダーとエビのグリルをいただき、午後は高速道路でラホヤへ向かいます。ラホヤのチルドレンプールはとても小さなビーチで、この時は10頭ほどのアザラシが遠くの岩で寝転んでいるのと、2頭ほど泳いでいる姿を見ることが出来ました。冬になると沢山のアザラシがここにやって来るそうです。その後、マウントソルダッドの丘からラホヤの海岸線を眺め、そしてカリフォルニア発祥の地オールドタウンを散策、最後に広大な敷地のバルボア公園を經由して船に戻りました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

クジラとデキシーランドジャズ

Date : 2015/06/26 緯度 : N 34度 23分 経度 : W 121度 3分 天気 : 曇り 気温 : 17.5度 速度 : 16.7ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは、ロサンゼルス北西に浮かぶチャンネル諸島の沖合いを航行中です。午前10時過ぎ、クジラが出たというアナウンスがあり、窓の外を見ると数頭のクジラが背中を見せながら潮を吹いていました。今回は沢山の人がデッキに出ていたため、目撃された方も多かったのではないのでしょうか。

夜には、ギャラクシーラウンジで藺田憲一とデキシーキングスのコンサートがありました。今回は「星条旗よ永遠なれ」から始まって、ボーカルのFumikaさんが「テネシーワルツ」を歌い、さらに「童謡唱歌メドレー」「聖者の行進」と楽しい演奏が続きます。そして、アンコール曲の「ユーアーマイサンシャイン」では、なんと増田アシスタントクルーズディレクターがドラムを叩き、会場を沸かせて終了となりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

サンフランシスコ

Date : 2015/06/27 緯度 : N 37度 48分 経度 : W 122度 24分 天気 : 晴れ 気温 : 19.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : サンフランシスコ



午前5時40分頃、飛鳥Ⅱはゴールデンゲートブリッジの下をくぐり、サンフランシスコ湾に入りました。1846年、外洋船の船長だったジョン・C・フリーモントは、この海峡を見てイスタンブールの金角湾を思い出し、この土地をゴールデンゲート（金門）と名付けたそうです。そして私もまた当時のフリーモントと同じように、5月3日に訪れたイスタンブールの入港シーンを思い浮かべていました。

霧の町と称されるほど、夏には霧が多く発生するサンフランシスコですが、今日は朝から爽やかに晴れ上がり、絶好の観光日和の中、皆さんとバスに乗って市内観光へ出掛けました。

まずはダウンタウンの中心ユニオンスクエアと官庁街のシビックセンターを車窓から眺め、マーケット通りから坂を上がってツインピークスに到着します。ここも普段霧に覆われることが多いようですが、今回はサンフランシスコの町を一望することが出来ました。次に、広大なゴールデンゲートパークを横切り、世界一美しいと言われるゴールデンゲートブリッジに到着します。1937年に完成したゴールデンゲートブリッジは、全長が2,737メートル、中央部の高さは67メートルあり、かつてクイーンエリザベス号が橋との隙間60センチのところを通り抜けたという記録が残っているそうです。少しだけ皆さんと一緒に橋の上を歩いてみましたが、大きいというよりは確かに美しいという印象でした。バスはその後フィッシャーマンズワーフに立ち寄り、レトロなゲームセンターを覗いたり、アシカが泳いでいるのを眺めたり、ホットドッグを食べたりして船に戻ります。

夜のボン・ヴォヤージュでは、真っ赤な夕焼けと光り輝く街並みを眺めながら、ロマンチックな出港風景を楽しむ事が出来ました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

セレブレーション

Date : 2015/06/28 緯度 : N 40度 35分 経度 : W 124度 51分 天気 : 曇り 気温 : 16.5度

速度 : 14.6ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIはオレゴン州の沖合を北に向けて航行しています。

今夜はギャラクシーラウンジで、プロダクションショー「セレブレーション」がありました。

オリジナルプロダクションショーの「セレブレーション」は、飛鳥IIがそのままモチーフとなっていて、これまでの皆様との出会いに感謝の気持ちを込めて、20周年という節目の年に制作されたものです。

飛鳥IIでプロダクションショーが行われるのは、世界一周クルーズがスタートした翌日の4月5日以来のことです。久しぶりのショーに皆さんも大変満足のご様子でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

アスカミュージアム

Date : 2015/06/29 緯度 : N 46度 58分 経度 : W 125度 16分 天気 : 曇り 気温 : 16.5度
速度 : 16.0ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今夜はいつもと違ってお客様が主役、題して2015ワールドクルーズインターナショナルナイト「アスカミュージアム」が、ギャラクシーラウンジで盛大に開かれました。

不思議な博物館「アスカミュージアム」では、テーマに沿った展示物に扮したお客様が歌や踊りを披露します。

まずは中東ということで、セクシーなベリーダンスを披露。千手観音も見事に決まり、大いに盛り上がります。次はヨーロッパで古くから親しまれているいくつかの童話を組み合わせたオリジナルの物語が披露されました。そして、次はカリブのラテンのリズムに合わせ、楽しいダンスが披露されます。最後はアメリカで60年代にヒットした名曲「パフ魔法の竜」を皆さん見事に歌い上げました。

ショーの後、窓の外を眺めると、バンクーバー島の島影に沿って霧が降りていて、その手前をクルーズ船が通り過ぎて行くのが見えました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

バンクーバー

Date : 2015/06/30 緯度 : N 49度 17分 経度 : E 123度 7分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : バンクーバー

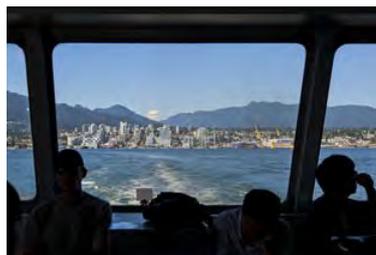


飛鳥Ⅱは予定通り、午前7時にバンクーバー港のカナダプレイスに着岸しました。

汗ばむ陽気の中、午前中にダウンタウンを散策した後は、皆さんと一緒にノースバンクーバーへ出かけます。

ライオンズゲートブリッジを渡って最初に到着したのは、キャピラノサスペンションブリッジパークでした。ところが、入場してその先へ進むには、まず長さ137メートル、高さ70メートルの吊り橋を渡り切らなくてはなりません。絶景のキャピラノ渓谷を見下ろしながら揺れる吊り橋の上を歩くのは大変ですが、そこを乗り越れば素晴らしい自然公園が待っているというわけです。公園内ではアメリカ松の原生林に架かる7つの吊り橋を渡ったり、池に生息する野生のニジマスを観察したり、素晴らしい自然の中で自由な散策を楽しみました。

グラウス山（標高1,250メートル）では、スカイライドというゴンドラに乗り、標高1,128メートルの高さまで一気に上がります。展望台からはバンクーバーの町を一望出来るばかりか、眼下に我らが飛鳥Ⅱの優雅な姿も見る事が出来ました。最後はロンズデールキーターミナルからシーバス（連絡船）で、対岸のカナダプレイスに戻り、午後7時過ぎ、飛鳥Ⅱはアラスカ州のジュノーへ向け出港しました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

インサイドパッセージ

Date : 2015/07/01 緯度 : N 51度 1分 経度 : W 127度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 14.0度 速度 : 13.5ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



午前5時、飛鳥Ⅱはセイモアナロウズと呼ばれるバンクーバー島と北米大陸の間における最も狭い海域を通過しました。この辺りはインサイドパッセージと呼ばれ、氷河が後退した後に残った数千の島々とフィヨルドによって、非常に入り組んだ海域となっています。飛鳥Ⅱはその中をゆっくり航行しながら、午後5時頃、ベラベラの町にやって来ました。ベラベラはとても小さな町ですが、子供たちが桟橋から海に飛び込んでいたり、海岸では海水浴を楽しむ人々の姿も見えます。ちなみにこの付近の海水温は19度ということでした。

夜には、ギャラクシーラウンジでベテランコーラスグループのデューク・エイセスのコンサートがありました。今年で結成60周年を迎えるということで、レパートリーは何と1,700曲近くにも及ぶそうです。まずは黒人霊歌から始まり、日本の歌シリーズ、東日本大震災復興支援ソングの「花は咲く」、そして旅の歌メドレーを、最後のアンコールでは「小さな世界」を歌い、皆さんとても懐かしそうに聞いていました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

スノーパッセージ

Date : 2015/07/02 緯度 : N 56度 0分 経度 : W 132度 40分 天気 : 曇り 気温 : 14.0度 速度 : 15.9ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



早朝、飛鳥Ⅱはカナダからアメリカの海域に入りました。いよいよここからアラスカです。朝になるとアラスカのパイロットが乗船し、昼過ぎスノーパッセージに到着しました。スノーパッセージ周辺は、特にクジラが多いことで知られ、主に見られるのはザトウクジラやミンククジラですが、運が良ければシャチに出会えることもあるそうです。昼頃からデッキで待機していると、早速中村キャプテンがクジラを発見。目の前で潮吹きと迫力あるテイリングを見せてくれました。その後、クジラが出る度に歓声が上がリ、結局1時間半の間に、ザトウクジラとイルカ、そしてブイの上に乗ったアシカを見ることが出来ました。

夜には、ギャラクシーラウンジではだかの王様ライブが開かれました。はだかの王様は松崎菊也さんと石倉チョッキさんの飛鳥Ⅱ限定のユニットで、都々逸とイラストで社会風刺、替え歌あり、コントありの本気で笑い転げたあっという間の45分でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ジュノー

Date : 2015/07/03 緯度 : N 58度 17分 経度 : W 134度 24分 天気 : 曇り 気温 : 13.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ジュノー



飛鳥Ⅱは午前7時にアラスカ州の州都ジュノーに到着しました。

入港時はあいにくの雨模様。といっても到着した時はほとんど雨も止んでいて、観光に影響はありません。まずはバスでメンデンホール氷河へと向かいます。湖畔から見た時は霧に覆われていた氷河も、ビジターセンターに着くと徐々に晴れてきて、わずか800メートルという至近距離から氷河の末端を眺めることが出来ました。ここは全長が19.3キロメートル、先端の幅が2.4キロメートル、氷壁の高さは30.4メートルという巨大な氷河で、グレイシャーブルー（氷河の青）の大きなクレバスが連続している様子まではっきりとわかります。氷河をたっぷり見学した後は、マコーリーサケ孵化場で遡上したばかりのシロザケを見学しました。

午後はアウク湾からボートでホエールウォッチングに出かけます。まず最初は、岩の上に寝転ぶアザラシや白頭鷺を観察してから、クジラの居そうなポイントへ移動。じっと待っていると、突然巨大なザトウクジラが目の前に浮いてきて、思わず声を上げてしまいました。その後、数頭のザトウクジラを目撃して、別のポイントへ移動します。すると、今度は遠くにシャチの姿が見えてきました。おそらく他の船と連絡を取り合っていたのでしょう。他にもボートが2隻いて、同じようにシャチを見えています。全部で何頭かはわかりませんが、少なくとも6頭は居て、そのうち2頭が親で4頭が子供のような様子でした。そして突然クライマックスが訪れます。それは大きな親シャチのジャンプでした。まるで曲芸のように何度もジャンプしてくれて、目撃された皆さんは本当にラッキーだったと思います。

夜には、今クルーズ最後となるローカルショーがギャラクシーラウンジで行われました。出演はザハスキー一家によるアラスカストリングバンドです。今回はアメリカの代表的な楽曲を独自のアレンジで演奏して、素朴な歌声とともに身も心も温まりました。

午前0時、アメリカ合衆国の独立記念日を祝う花火が打ち上げられると、赤や緑の光がジュノーの夜空を照らしました。飛鳥Ⅱは当初の予定を変更して、午前1時30分スワードへ向けて出港しました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

トレイシーアームフィヨルド

Date : 2015/07/04 緯度 : N 57度 55分 経度 : E 133度 56分 天気 : 晴れ 気温 : 13.0度 速度 : 10.0ノット
海域 : アラスカ湾 寄港地 : 太平洋



午前5時、飛鳥Ⅱはすでにトレイシーアームフィヨルド内を航行していました。山の合間から朝日が顔を出すと、いよいよフィヨルド再奥のサウスソイヤー氷河が見えてきます。しかし、その先には大きな氷塊があって、これ以上近付くことが出来ません。船はやむなくそこで引き返し、フィヨルドを出ることにしました。

夕方になると、ギャラクシーラウンジで鬼山オールスターズのコンサートがありました。鬼山オールスターズは、尺八の大由鬼山さんを中心に、ピアノ&ボーカルの城田有子さん、ドラムの松浦賢二さん、トロンボーンの内田光昭さんといったメンバーが幅広いジャンルの楽曲を独自のアレンジで聴かせてくれます。今回はスリリングなナンバーの雷神から始まり、オリジナルソングの杭州旅情では、アジアの風が舞い戻ったようなしっとりとしたメロディを。そして、ラストのカミングオンベイビーでは、エキサイティングなソロの掛け合いを披露していただき、とても素晴らしいコンサートとなりました。

午後6時過ぎ、飛鳥Ⅱはポイントアドルフアスに到着。「暫くの間ここでホエールウォッチングを行います。」と中村キャプテンからアナウンスがありました。そのうちにイルカやクジラが姿を現しますが、あまりに遠いので良く見えません。やがて鳥山が近付いてきて、トドの群れが盛んに魚を追う姿を見ることが出来ました。その後別のポイントへ移動してみると、今度はあちこちでクジラが潮を吹いています。そのうちにクジラがジャンプして、その度に皆さんから歓声が上がり、大満足のホエールウォッチングでした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ハバード氷河

Date : 2015/07/05 緯度 : N 59度 37分 経度 : W 139度 52分 天気 : 晴れ 気温 : 14.5度

速度 : 13.9ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



午前7時過ぎ、飛鳥Ⅱはハバード氷河を見学するためヤクタット湾に入りました。最初は単なる山にしか見えませんでした。湾奥へ向かうにつれ、だんだん巨大な氷河の全貌が露わになっていきます。そのうちに中村キャプテンから「今日は氷が少ないので、かなり近付けるかも知れません。」とアナウンスがありました。しかし、氷河に近付けば近づくほど風は冷たくなり、身体が冷えていきます。寒さにじっと耐えていると、やがて太陽が顔を出し、徐々に暖かくなりました。時折氷河の崩落する音が雷鳴のように響き渡ります。通常、氷河の崩落というのは氷河の後退に繋がるわけですが、ここハバード氷河だけは唯一前進を続けているのだそうです。

午後は、日本の伝統文化を中心に講演活動をされている酒井悦子先生の「季節の節目と五節供」という講演がありました。江戸時代、一月七日の人日節供、三月三日の上巳節供、五月五日の端午節供、七月七日の七夕節供、九月九日の重陽節供、という五つの節供が公式年中行事となり「五節供」として今に残っているのだそうです。講演では、それぞれの意味や由来などを聞くことができました。

夜になると、ギャラクシーラウンジでデューク・エイセスのコンサートがありました。今夜は様々なジャンルの歌を聴かせてくれるということで、「テネシーワルツ」から始まり、がらりと変わって、熊本民謡の「おてもやん」、鳥取民謡の「貝殻節」、さらに、オリジナル曲の「幼なじみ」、そして最後のアンコールは「メモリー」と、ベテランならではの味わい深いコーラスを聴かせてくれました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

カレッジフィヨルド

Date : 2015/07/05 緯度 : N 61度 16分 経度 : W 147度 44分 天気 : 曇り 気温 : 15.5度
速度 : 14.1ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは午前8時頃、プリンスウィリアム湾最奥のカレッジフィヨルドに入りました。ここでは、ラッコやアザラシなど、野生動物ウォッチングをしながらクルーズを楽しみます。そして、いよいよフィヨルドの一番奥にあるハーバード氷河の前に到着。この氷河は末端付近で蛇行しているため、黒いモレーン（氷堆石）がうねって見えるのが特長です。今日は昨日よりさらに近付けて、すぐ目の前で氷河の崩落を見ることが出来ました。尚、この時点で今クルーズの最北地点（北緯61度16分、西経147度44分）に到達。ちなみに最南はシンガポール海峡（北緯01度11分、東経103度35分）でした。夕方、スケジュールに余裕があるということで、パッセージカナルに入って行き、2010年の寄港地ウイッティアを船上から眺めます。対岸には無数のカモメが居て、中村キャプテンが「滝の周りはミツユビカモメの繁殖地になっています。」と説明してくれました。夜になると、ギャラクシーラウンジではだかの王様ライブがあり、今回も都々逸とイラストで社会風刺。党首討論のコントでは、会場の皆さんも爆笑の連続でした。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

スワード

Date : 2015/07/07 緯度 : N 60度 7分 経度 : W 149度 26分 天気 : 曇り 気温 : 14.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : スワード



飛鳥Ⅱは予定通り午前7時にキーナイ半島東岸の町スワードに到着しました。

スワードは1903年にアラスカ鉄道の開通とともに生まれた港町で、ゴールドラッシュ時代の面影が残るダウンタウンは、南北約3キロ、東西1キロとコンパクトなため、のんびり散策するにはちょうど良い広さです。早速歩いてみると、スポーツ用品店や雑貨屋など、思いのほか品揃えが豊富で、ショッピングも楽しめました。

午後には、スワード近郊のイグジット氷河を見学に行きます。

キーナイ半島の東に広がる長さ56キロ、幅40キロの巨大なハーディング氷原からは、いくつもの氷河が流れていて、イグジット氷河もそのうちのひとつ。これまで見てきた海や湖に流れ落ちるタイプとは違い、末端が陸地のため間近で氷河を見ることが出来ます。まずはバスでネイチャーセンターまで行き、皆さんと4.8キロメートルのネイチャートレイルを歩いて行きました。ハンの木の原生林を抜けると、最初のビューポイントに到着。そこから先は植物がだんだん少なくなっていき、つい最近までは氷河の跡だったことがわかります。また、トレイルの途中には4桁の数字が書かれた標識のようなものがありますが、これは氷河の末端があった場所とその年代を記したもので、これを見ながら歩けば、どのくらいのスピードで氷河が後退しているのか実感できるというわけです。

午後7時、いよいよ最終寄港地のスワードを出港する時がやってきます。今日は七夕ということで、七夕をテーマにボン・ヴォヤージュが行われ、皆さんも名残を惜しむかのように、出港シーンを楽しんでいました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

シネマ

Date : 2015/07/08 緯度 : N 56度 39分 経度 : W 155度 47分 天気 : 曇り 気温 : 12.0度

速度 : 18.1ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIはコディアク島とアラスカ半島の間を西に向けて航行しています。

今日はギャラクシーラウンジでプロダクションショーの新作「シネマ」が披露されました。通算で43作目となる今回は、タイトルの通り映画がモチーフとなっていて、映画史に残る名場面と名曲の数々を、素晴らしい歌やダンスとともに「シネマ」の世界に誘います。ショーの後には制作スタッフも紹介され、新作発表に相応しい華やかな夜となりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ベーリング海

Date : 2015/07/09 緯度 : N 54度 18分 経度 : W 167度 0分 天気 : 曇り 気温 : 9.5度 速度 : 18.2ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIはアリューシャン列島のウニマック水道を経てベーリング海に出ました。左舷側にはウナラスカ島と雪を抱いた山が見えています。

そんな中、ギャラクシーラウンジでは、同好会と教室の卒業発表がありました。最初はタップダンス教室、続いて手旗信号、そしてスクエアダンス同好会、最後はウクレレ教室の発表と、日頃の成果を見事披露していただきました。

一方、私が担当する写真教室も今日で最終回となりました。これまで素敵な作品を見せてくれた皆さん、それと私の拙い話を聞いていただいた皆さんには、本当に感謝いたします。ありがとうございました。

夜になると、ギャラクシーラウンジで清塚信也さんのピアノリサイタルがありました。

まずはベートーヴェンの「月光」と「悲愴」、それからショパンの「ノクターン」と「幻想即興曲」、リストの「愛の夢」、ショパンの「英雄ポロネーズ」といった名曲を、素晴らしい演奏とトークで楽しませてくれました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

和の日

Date : 2015/07/11 緯度 : N 53度 5分 経度 : W 178度 33分 天気 : 曇り 気温 : 8.5度 速度 : 18.2ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今日は「和」をテーマにしたイベントがたくさん用意されていて、午後には恒例の餅つき大会も予定されていましたが、残念ながら雨で中止となってしまいました。替わりにお餅が振舞われることになり、昼食後にもかかわらず大勢の皆さんが食べに来ていました。

夜には鬼山オールスターズのコンサートがギャラクシーラウンジで開かれました。冒頭、大由鬼山さんが尺八で「遠くへ行きたい」を演奏しながら入場口から現れ、その後、酒井悦子先生の箏が加わって、まさに「和」の世界一色となります。今日は「和」に加えて、旅と海がテーマということで、海の曲をメドレーで演奏、日本の伝統楽器に様々なジャンルの音楽が見事に調和して、素晴らしいコンサートとなりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

北太平洋

Date : 2015/07/12 緯度 : N 52度 5分 経度 : E 169度 17分 天気 : 曇り 気温 : 8.5度 速度 : 18.4ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIはベーリング海を出てようやく北太平洋にやってきました。ここまで来ると日本はもうすぐ目の前です。昨日書き忘れてしまいましたが、日付変更線を通る前に、船内時計が1日早まりました。これにより飛鳥IIの船上では7月10日は存在しないことになります。

夜になると、ギャラクシーラウンジでダンス講師陣によるダンスデモンストレーションが行われました。今回は山下昌美先生と中洋子先生が、30年前の衣装を着て当時のダンスを再現してくれたり、山下先生の楽しいトークがあったりと、あっという間の30分でした。

一方、クラブスターズで毎週行われていたウィークエンドナイトトークは、いよいよ最終回ということで、中村大輔船長がゲストとして迎えられました。とにかく今回の世界一周クルーズは、よく晴れたという印象で、寄港地では天気予報を覆すことも幾度もあり、船長自身晴れ男晴れ女の力を強く感じたと言います。これについては、エッセイでも触れていますが、それほど今クルーズを象徴する出来事だったのかも知れません。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

ロストインタイム

Date : 2015/07/13 緯度 : N 48度 1分 経度 : E 159度 16分 天気 : 曇り 気温 : 9.0度 速度 : 18.2ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今日は完成した横断幕をみんなで広げてみました。表題は「天気も心も晴ればれ」ということで、とにかく良く晴れた今クルーズの印象がこの横断幕にもあらわれています。

夜には、先日披露された「シネマ」に続き、プロダクションショーの新作第二弾「ロストインタイム」がギャラクシーラウンジで行われました。

今回は飛鳥二代目マジシャンとして迎えらえたTAKUYA氏が、様々な時代にタイムスリップしながら、不思議なストーリーを展開、プロダクションキャストメンバーと共に、鮮やかなマジックを披露してくれました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

キャプテンズフェアウェルパーティー

Date : 2015/07/14 緯度 : N 43度 26分 経度 : E 151度 3分 天気 : 雨 気温 : 14.0度 速度 : 18.3ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今日は朝から雨が降ったり止んだりとはっきりしない天気です。そんな中、ギャラクシーラウンジではキャプテンズフェアウェルパーティーが開かれました。

まずは、小川クルーズディレクターの挨拶とトークから始まり、プロダクションショーの「クラシカルモーメント」は、チャイコフスキーの「白鳥の湖」から、エルガーの行進曲「威風堂々」まで、最後のフォーマルナイトにふさわしい華やかなショーとなりました。中村大輔船長が挨拶の後、今回のクルーズは本当に天候に恵まれたという話をされて、最後は皆で「蛍の光」を歌いながら終了です。いよいよ2015世界一周クルーズも終わりが近づいて来ました。

夜になると、ギャラクシーラウンジで清塚信也さんの2回目のピアノリサイタルがありました。

今回は、映画「戦場のピアニスト」より、ショパンの「ノクターン第20番～遺作～」、続いて、映画「海の上のピアニスト」より、モリコーネの「愛を奏でて」の2曲で始まり、ドビュッシーの「月の光」、そしてフォーシーズンズメドレー、清塚信也作曲の「恋」を披露、それから前回時間切れで演奏できなかったベートーヴェンのピアノソナタ第23番「熱情」より第3楽章では、エネルギッシュな演奏に思わず圧倒されてしまいます。クラシックばかりでなく、ガーシュウィンメドレーではジャズも聴かせてくれて、感動的なりサイタルとなりました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

飛鳥芸術祭とクルーショー

Date : 2015/07/15 緯度 : N 38度 21分 経度 : E 144度 9分 天気 : 霧 気温 : 22.0度 速度 : 17.4ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥Ⅱは日本の近海を航行しています。そんな中、コンパスルームでは飛鳥芸術祭が開かれました。今回は写真を始め、日本画やデッサン、水彩画、手芸、ビーズ、短歌、都々逸といった皆さんの作品が展示され、その後、オフィサーによる審査と、写真の部では私が審査を行い、受賞者の方たちには、それぞれ記念品が授与されました。

夜になると、恒例のクルーショーがギャラクシーラウンジで開かれます。題して2015年ワールドクルーズ「クルー笑点」ということで、トップバッターは、新入社員のホテル部おにゅーずによる「なんでだろう?～飛鳥ver.～」、2組目がアイスブレイカーズの「Sing & Dance (シング&ダンス)」、3組目はハウスキーピング・タレントによる「Dance Hits Number (ダンス ヒッツ ナンバー)」、4組目がF&B アスカ・オールスターズの「ダンス」、5組目がF&B スイート・メモリー「Thinking out loud (シンキング アウト ラウド)」、6組目がクルーズスタッフによる「The Entertainer (ザ エンターテイナー)」、7組目はアスカビューティーズの「Around the World Experience (アラウンド ザ ワールド エクスペリエンス)」、そして最後はオフィサーによる「大喜利」と、クルーズの最後の夜は笑い感動のステージで幕を閉じました。



Cruise : 2015年世界一周クルーズ (104)

横浜

Date : 2015/07/16 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 曇り 気温 : 28.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



飛鳥Ⅱは104日間の航海を経て母港の横浜に帰って来ました。

接近中の台風11号の影響が心配されましたが、どうやら最終日も晴れ男晴れ女のパワーが雨を遠ざけてしまったようです。

思い起こせば、最初の寄港地シンガポールからアラスカのソードまで、今回は天候に恵まれただけでなく、全体的に穏やかな航海日ばかりでした。そんな中、特に印象深かったのが、朝日と夕日の美しさです。それから、アラスカの氷河も素晴らしかったですね。中村キャプテンも船がこれほど氷河に迫った事は無かったと言います。そして何より、このクルーズで出会った皆さんと、素晴らしい旅の思い出を共有出来たことは、私にとって大きな財産となりました。またいつかお会い出来る日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

